

かきのき

2026年4月号



～ 目次 ～

- あなたのギモン 図書館の本が解決します
「オーケストラはどのように誕生したの？」
- 柿木図書館に新しく入った図書
- 2025年度貸出の多い雑誌 Best15
- 今月の展示のご案内
- 柿木図書館カレンダー

杉並区立柿木図書館

杉並区上井草 1-6-13 ☎ 03-3394-3801

<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

あなたのギモン、図書館の本が解決します！

「オーケストラはどのように誕生したの？」

華麗かつ壮大な交響曲を聴かせるクラシック音楽のオーケストラ。

その魅力はつきることがありません。弦楽器、管楽器、打楽器で構成される現在のようなオーケストラはどのように誕生したのでしょうか？ それを知るためには、西洋音楽の歴史を探ってみなければなりません。

○ オーケストラの語源は楽団のことを指すのではなかった！

紀元前5世紀頃の古代ギリシア時代の円形劇場で、合唱隊が歌い踊っていた舞台と観客席の間にある半円形の場所がその当時「オルケストラ」と呼ばれ、それがオーケストラ（orchestra）の語源となりました。すなわち楽団ではなく場所のことを指していたわけです。

○ オーケストラの原型はオペラやバレエの伴奏だった！

時代が下り17～18世紀頃に王侯貴族による宮廷文化の中でオペラやバレエが盛んに行われ、それらの伴奏をしていた楽団が「オーケストラ」と呼ばれるようになります。また楽器の発達と共に卓越した演奏家も増加していきました。

○ オーケストラが「脇役」から「主役」になった！

演奏自体を楽しむ文化が発展していくにつれオーケストラが独立して、18世紀半ばついに「交響曲」を演奏するオーケストラが誕生しました。3大巨匠と呼ばれるハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンが数々の素晴らしい交響曲を生み出し演奏されていったのです。

この時代に音楽は貴族から市民へと開かれていき、多くの音楽会が行われコンサートホールも建てられていきました。

その後も現在に至るまでオーケストラは進化し発展し続けています。今後も我々に感動を与えてくれることでしょう。

※オーケストラの成り立ちについては色々な説があります。



【参考資料】

- ・オーケストラの経営学 大木 裕子／著 東洋経済新報社 764才
- ・クラシック音楽全史 ビジネスに効く世界の教養 松田 亜有子／著 ダイアモンド社 762. 3マ
- ・オーケストラの文明史 ヨーロッパ三千年の夢 小宮 正安／著 春秋社 764コ

○ アンコール！

杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携が1994年（平成6年）に結ばれ、区内で様々な音楽活動が行われています。その1つに区民にとって身近な場所での「出張コンサート」があり、今年1月に柿木図書館でも開催しました。

その報告は次ページをご覧ください。

～ 柿木図書館 60周年記念 イベント報告 ～

※柿木図書館は1965年（昭和40年）に開館。

2026年（令和8年）1月26日（月）午後2時～2時45分に柿木図書館2階フロアにて「**日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏出張コンサート**」を開催しました！

当日は160人の観客が素晴らしい演奏を堪能し、素敵な午後のひとときとなりました。

当日のプログラム

1. モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章
2. パッヘルベル：カノン
3. 沖縄のあそびうた
4. アンダーソン：そりすべり
5. ビートルズ：All You Need Is Love
6. 「ハウルの動く城」より〈世界の約束〉
7. 川の流れるように
8. リトルマーメイド



● 柿木図書館に新しく入った図書 ●



『図書館と向き合う』

まちづくり・読書バリアフリー・デジタル活用』

高野 一枝/著

青弓社 010タ

図書館システムの SE（システムエンジニア）の立場から長年図書館とかかわってきた著者が、まちづくりやデジタル活用など様々な図書館の課題や可能性と向き合う。

それにより図書館の現在の様々な姿が明らかになっていく。図書館への熱い想いがあふれるエッセー。

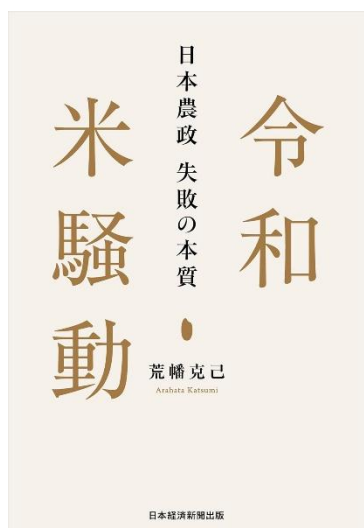
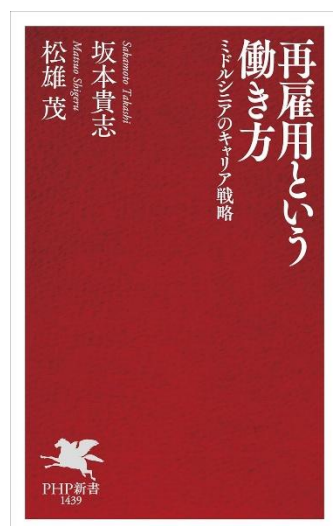
『再雇用という働き方』

ミドルシニアのキャリア戦略』

坂本 貴志/著 松雄 茂/著

PHP 研究所 366.2サ

少子高齢化が進み定年後も働く必要性が高まる一方の現在の日本。その時になってからではなく、ミドルシニア期（通常50～64才を指す）に人生の戦略を再構築することが大事であると本書は強く主張する。



『令和米騒動 日本農政失敗の本質』

荒幡 克己/著

日経 BP 日本経済新聞出版 611ア

我々の生活を直撃した「令和の米騒動」。その原因は一体何なのか？農学者でもある著者は情緒的ではなく冷静に数字を挙げて分析し、政府による「人災」と猛暑による「天災」が合わさったものであるということをも日本農政の将来像も含め問題提起している。

★2025 年度 貸出の多い雑誌 Best15★

今月は、少し趣向を変えて、25 年度に柿木図書館で所蔵している雑誌のうち、貸出の多かった雑誌のランキングを出してみました。

順位	雑誌名	出版社	貸出数合計
1	&Premium	マガジンハウス	214
2	クロワッサン	マガジンハウス	153
3	dancyu	プレジデント社	104
4	レコードコレクターズ	ミュージック マガジン	86
4	日経Woman	日経BP	86
6	散歩の達人	交通新聞社	76
7	日経 P C 2 1	日経BP	70
8	日経マネー	日経BP	61
9	暮らしの手帖	暮らしの手帖社	60
10	CREA	文藝春秋	57
11	T a r z a n	マガジンハウス	52
12	NHKきょうの料理	NHK出版	50
13	婦人公論	中央公論新社	41
14	おとなの週末	講談社BECK	39
15	OZ magazine	スターツ出版	34

算出方法：柿木図書館所蔵の雑誌で2025年度貸出数のBest100を抽出し、雑誌別に貸出回数を集計した上位15誌。刊行頻度（月刊・週刊等）は考慮しておりません。対象期間は2025.4.1～2026.3.15になります。

今月の展示のご案内

一般展示

「日々の暮らしを考える」

日々の暮らし方は、日々の小さな習慣や意識、住環境を整えることで、心地よく充実させることができます。自分らしい暮らし方を考えてみませんか。

期間：4月7日(火)～5月7日(木)

場所：2階 展示コーナー

YA 展示

「いま、この本」

杉並区立図書館では、毎年10代のみなさんにおすすめた本の本のブックリスト「いま、この本」を作成しています。新しく完成した「いま、この本2025-2026」の配布とともに、柿木図書館に所蔵のある本を展示します。

期間：4月7日(火)～5月7日(木)

場所：2階 YA コーナー

柿木図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
<u>5</u>	6	7	8	9	10	11
<u>12</u>	13	14	15	16	17	18
<u>19</u>	20	21	22	23	24	25
<u>26</u>	27	28	<u>29</u>	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	7	8	9
<u>10</u>	11	12	13	14	15	16
<u>17</u>	18	19	20	21	22	23
<u>24</u>	25	26	27	28	29	30
<u>31</u>						

…休館日 日付…午後5時閉館

【開館・貸出時間】

月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

【休館日】

第1月曜日・第3木曜日 年末年始(12/31～1/4)

※5月は連休のため、変則的に8日(金)が休館日となります